

平成30年度 北海道小学校長会
第3回理事研修会
要望活動について 2018.10.03



道教委の国に対する提案・要望事項は、大きく「重点要望事項」と「一般要望事項」の二つある。「重点要望事項」としては、「学力・体力向上に向けた施策の充実」「英語教育の充実」、「教育の情報化に向けた施策の充実」「幼児教育の推進体制構築に向けた施策の推進」「公立学校の教職員定数の改善充実」「学校における働き方改革の推進」（昨年度は「教員が子どもと向き合う時間の確保」）「学校施設の耐震化等の整備促進」の6点のことや、19項目にわたる「一般要望事項」を見ると、道小・道中・道公教が、この春、道教委へ要望した内容と関連しているものが多く含まれていることが分かる。

そこで、どの程度、我々の要望内容が、国への要望事項として取り上げられているのか、調べてみた。

平成30年5月8日に、道小・道中・道公教が道教委に対して「北海道文教施策・予算策定に関する要望書」を本間会長が提出した。その平成30年度「道小・道中・道公教の道教委への要望内容」と平成31年度「道教委の国への要望内容」で比較検討した。

昨年度の61%に対し、今年度は、道教委へ要望した内容の63%が国への要望事項として取り上げられている。

道小・道中・道公教からの要望事項が多く取り上げられ、国への要望に反映している結果となっている。また、私たちの要望に対して道教委がどれだけ前向きにとらえているかについて、資料を通じて検討した結果、91%の数値となった。私たちの要望が、道教委の施策・予算案策定に確実に反映されていると考えられる。

以上のような結果から、次年度も、我々の要望内容について、道教委から前向きな回答を引き出したり、国への要望事項として積極的に取り上げられたりするように、今後の要望活動も、各地区の協力を得ながら取り組んでいきたい。

例年であれば、全道大会を行う 9 月の第 3 回理事研修会にて承認をいただき、その後、要望事項の集約を各地区の理事の皆様をお願いするところである。だが、今年度は全国大会で理事研が 10 月に開催され、既に各教育局への要望活動が始まることから、理事研修会の承認前ではあるが、9 月に各理事のもとへ「要望事項の集約」の依頼を配信した。当初は 9 月 10 日に配信する予定だったが、台風・地震被害を鑑み、9 月 25 日に道小・道中の理事へ、配信したところである。

小学校長会と中学校長会が一緒の地区では、小中まとめて一地区として提出していただく。旭川・函館・帯広の場合は、小・中それぞれの校長会で提出していただく。締め切りは 10 月 22 日となっている。各地区担当されている校長先生によりしくお伝え願いたい。なおもう既に、小樽地区、釧路地区からは提出していただいている。

不明な点は、私 梶野までご連絡をお願いする。
今後、文教施策懇談会や各課懇談会への取組と、要望事項の精選を並行して行っていく予定である。以上で、要望活動についての提案を終わる。